

校報 悠遠 ～ゆうえん～

聡明な人間 豊かな人間 たくましい人間

【願う学校像】高い志と興文愛をもち、何事にもひたむきに取り組む興文中

◇夢や目標をもつ

◇達成の方法を工夫する

◇仲間と共に高まる

◇あきらめず何度も挑戦する

大垣市立興文中学校

校長 清水 昭治

生徒数 339名

大垣市西崎町1-82

〒78-3068

令和元年6月28日発行

<http://www.ogaki-city.ed.jp/kouchu/index.html>

■「一人でやりきる」「一人でも挨拶できる」夏休みに

校長 清水 昭治

1学期も登校する日数はあと15日となりました。振り返ってみると、実に実りの多い1学期であったと思います。とりわけ校長として嬉しかったのは、今年の本校の重点である「挨拶」について高まった姿が多く見られたことです。地域の方から「挨拶を進んでする生徒が多くなった」という声を耳にする回数が多くなったり、皆さんが宿泊研修で訪れた東京ディズニーランド、民宿、国民休暇村などでは、皆さんの礼儀正しさに驚いたという声を多く聞いたりしました。これは全校の皆さんが重点目標を意識して努力したことが目に見える形になって表れた結果だと思えます。

これから夏休みに向けて計画を立てる時期になりますが、1学期に学年・学級の仲間と作り上げた宝を糧として「一人でやりきる夏休み」「一人でも挨拶できる夏休み」となるよう一人一人が努力する姿を期待します。自立に向けて、自ら決めた目標達成に向けて、途中でくじけることなく、最後まで計画的にやりきる力を高める絶好のチャンスです。それは学習についても部活動や運動についても、あるいは家庭でお手伝いや地域清掃などのボランティアについても同じです。とりわけ進路決定が間近に迫っていたり、最後の中体連の大会や中文連のコンクールがあったりする3年生は、なおさらです。

また、夏休みは、家庭や地域で過ごすことが多くなりますし、各種大会・コンクールでいろいろな場所へ出かけることが多いことから、一人でも地域の方に挨拶をする社会人としての力も身に付けてほしいと思います。

保護者や地域の皆様には、長期間家庭や地域で過ごす興文中生の夏休みをそれぞれのお立場で支えていただきますよう、宜しくお願いいたします。

◇今月の生徒の「思い」

1年 『研修で付けた自信を生かす』

私は、一学期学習班長として、みんなのリーダーとして活動することを頑張りました。授業の始まる5分前になったら、三分前に間に合うように「座って」と呼び掛けをしたり、タイマーをセットしたりして三分前活動がスムーズに進むようにしました。また、クラスの授業での改善点についても考えました。授業中に一回拳手をすると、すぐに手が下がってしまうという課題点が出たとき、授業の中で私は「拳手して」と呼び掛けてよりよい授業の姿を目指しました。

また、一年生の宿泊研修である琵琶湖研修がありました。琵琶湖研修では班長や部屋長としての仕事を頑張りました。宿泊施設では、部屋に入ってから、時間を見てお風呂やご飯に行き、布団の準備も自分からみんなの分も手伝うことでリーダーシップを発揮できたと思います。2日目の活動の飯盒炊さんでは、班内で役割を確認し、自分から積極的に行動できたと思います。近江八幡での班別研修の時は、地図を見て「ここ、右じゃない？」と言って班内で協力することができました。

今後は琵琶湖研修の成果を生かし、研修でつけた自信をもとに学級や学年のリーダーにも挑戦していきたいと考えています。そして、学級目標である「前進 何ごとにも全力で取り組む1-C」のもと、学級がさらによくなっていくように呼び掛けなどを通して、リーダーとしての自覚をより強くもって生活していきたいです。



2年 『仲間とのつながり』

6月の全校研究会で私たちが得たもの、それは「仲間とつながることの温かさ」です。去年までの私は「失敗したらどうしよう」という気持ちから、自分から率先して行動したり、仲間を頼ったりすることができませんでした。そんな私が変わることができたのは、つながることの温かさに気付かせてくれた学級の仲間のおかげです。「全校研究会」が行われることを知ったのは、5月31日でした。その話を聞いたとき、正直不安で仕方ありませんでした。以前から学級の仲間と「目指す授業」について考えてはいたものの、即時反応・挙手が十分にできていなくてテンポが悪かったり、一人一人の意見が点々としていてつながっていなかったりしていたからです。学習班長としてどのように学級を支えていけばよいのか悩み、苦しむ日々が続いていました。



そんな時、心と目に飛び込んできたのは、私の呼び掛けを当たり前のように広げてくれているAさんやBさんを始めとした班長会メンバー、どうしたら今まで以上に「目指す授業」に近付くことができるのか嫌な顔ひとつしないで考えてくれるCさんやDさん。私の思いを感じ取って動いてくれる仲間の存在に気付いたとき、身体も心もフワッと軽くなる感覚がありました。学級を支えるということは「自分だけの思いで走り抜けるのではなく、仲間の思いに寄り添って一緒に歩いていく道を探していく」と考えられるようになったことで、今まで以上に仲間の存在を近くに感じることができ、そのおかげで安心して自分の思いを表現することができるようになりました。全校研究会当日、分からないことを教え合う姿や仲間の意見と聞き比べながら聞く姿、一人一人が学びをつなげる姿など、自分たちが目指してきた学びが出てきたのも、仲間たちのおかげです。この全校研究会を通して、一生懸命に何かをやりようとしたらついてきてくれる仲間がいること、苦しいときにはリーダーを支えてくれる仲間がいること、何より自分一人ではできなかったことでも仲間と力を合わせればできることがいくらかもあることを実感しました。学級目標は「一心」といいます。きっとみんなの心は、これからもっと一つになっていくと確信しています。あそこまで「一心」になることができた2年C組なのだから、これからもさらに仲間同士でつながっていき、温かな心を広げられるように支えていこうと思っています。

3年 『委員長をやる意義』

僕は、給食委員長に立候補するつもりはありませんでした。昨年度、1年間副委員長を務め、仕事の多さゆえに休み時間がなくなってしまうことが多かったからです。それでも、前期の委員長をやりようと思ったきっかけは昨



年度の引き継ぎ活動のときでした。その時の委員長は「給食当番以外の衛生面がまだ徹底できていない」と、受験が迫っている中で全校の衛生面を最後まで気にかけていました。その時、僕は全校のために働きかける大きな意義を感じました。損得ではなく、興文中の給食配膳のために働く姿に憧れをもち、給食委員長を志しました。委員長になって3ヶ月。3Bでは、5分着席、10分配膳の意識がとても高くなっています。6月21日（金）には、4分19秒で配膳を完了することができました。結果だけでなく、いつも呼びかけてきたことを、給食当番になった班内で声を掛け合ってやってくれたことが嬉しかったです。今は、全校の衛生面を強化するために他学年に目を向けることを意識しています。誰かのためになるように、何かの成果のつながるように、誇りをもって委員長をやり遂げたいです。「スピードと衛生面との両立」を目指して。

7月の行事予定

日	曜	主な行事
1	月	西濃教育事務所・市教委学校訪問
2	火	三者懇談 一研究一作品指導
3	水	三者懇談
4	木	三者懇談 一研究一作品指導
5	金	三者懇談
6	土	小中子ども会
7	日	
8	月	
9	火	道徳計画訪問
10	水	1・2年財産交流会
11	木	3年財産交流会
12	金	結団式
13	土	
14	日	
15	月	海の日
16	火	NTT ケータイ安全教室
17	水	学習評価の日
18	木	
19	金	1学期終業式